

薬の服用方法



薬を水またはぬるま湯で飲むのは、薬を飲みやすくするためと薬の吸収をよくするためです。薬によっては、ジュース（柑橘系、特にグレープフルーツ）、牛乳などで飲むと効き目が変わってしまうことがあります。また、水なしで飲むと、喉や食道の途中で薬が張り付いてそこで溶けてしまい、食道炎や潰瘍を起こすことがあります。薬はコップ1杯くらいの水またはぬるま湯で飲むようにしましょう。ただし、腎臓や心臓の病気などで水分を制限されている方、水を飲むとむせてしまったり、うまく飲み込めなかったりする方などは、湿性錠やOD錠などほんの少しの水で飲める薬に変更するなど他の工夫が必要なこともあります。また子供に苦い薬を飲んでもらうときは水ばかりではうまくいかないことがあります。薬剤師にご相談ください。